

当院の研修には2種類あります。1つ目は、業務に必要な基礎的な能力を身につけることを目的としたものです。代表的なものとして、新入職研修が該当し、基本的には業務時間内に行います。2つ目は、自己研鑽を目的としたものです。これはリハビリテーション科の管理職から認められた専門性を有するスタッフが時間外に開催しています。本来であれば、研修会の会場まで行き、参加費を払い受講するものを移動せず無料で参加できることから、スタッフから喜ばれています。

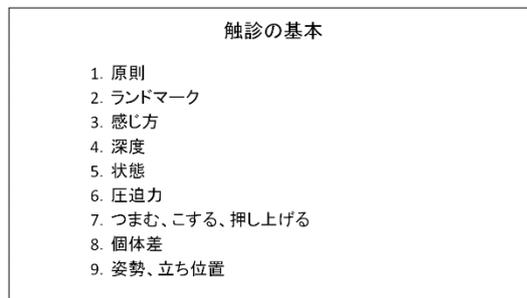
2024年8月20日に「触診」をテーマに自己研鑽を目的とした研修会を行いました。業務時間外にも関わらず6名のスタッフが参加し、熱心に学んでいました。触診は理学療法士や作業療法士にとって、非常に重要な技術です。この技術を習得するには、実際に人の体を触って練習する以外ありません。そこで、今回は触診の基本を伝えた後、小胸筋の短縮を改善するために必要な小胸筋の触れ方と小胸筋のダイレクトストレッチングの方法を指導しました。

参加者からは「触診の難しさ、奥深さを学びました」、「早速、小胸筋が短縮した患者様に行います。」「とても楽しかったです。」との感想がありました。

今後も、リハビリテーション科は患者様に提供するリハビリテーションの質を向上するために様々な取り組みを行ってまいります。

(文責 藤原 聡)

【研修会資料】



【研修会風景】

